

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 32人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達を行い共通理解をもつようになっている。	送迎時や定期的に行っている面談等を利用して気になる点などを伝えて、お互いに協力し合う事を意識している。	職員全員で同じ目標に向けた支援を行えるよう、会議等での情報共有を行いながら取り組む。
2	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援を行っている。	学習・課題・作業は個別活動として個々に準備を行い、集団活動では、協調性などを身に付ける事を目的に取り組んでいる。	個人活動・集団活動共に、子ども達が楽しく学び笑顔で過ごしていくような工夫を継続して考えていく。
3	活動スペースが十分に確保されている。	カーペットの色で活動空間を変えている。	継続して清掃や玩具の消毒をしっかりと行い衛生面に配慮する。又、活動スペースが広い分、ケガがないよう職員一同で見守っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援、保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベント開催やきょうだい同士の交流の機会がない。	ニーズがどの程度あるのか把握できていない為、企画するのが難しかった。保護者会はテーマを決めて年に1度は開催を行っている。	ニーズの確認をした上で、企画を検討していく。きょうだい同士の交流では、制作やスポーツなどができると良い。
2	非常時等の対応について定期的に避難訓練を行っているが、各対応マニュアルを含め、保護者の皆様に内容まで伝わってなかった。	避難訓練等があった際には、提供記録に実践したことを明記しブログにて確認できるようにしていたが周知不足があった。	詳細を記載したお便り等で訓練の前に保護者の方へ周知するようにしていきたい。
3	地域の他の子ども達と活動する機会がない	事業所で計画している行事と地域で開催される行事が重なるなどで、なかなかタイミングよく活動に参加出来ずにいた。	地域で開催される催し物などに積極的に参加できたら良い。